



表紙の
絵から

豆まきをしたり、大きな恵方巻を食べたりしているぶたさんたち。「鬼は外、福は内」の元気な声が聞こえてきそうですね。裏表紙では、節分でつかう物や食べる物を紹介しています。「恵方巻きを食べたことはある?」「鬼はいわしのにおいが苦手なんだね」などと話し、興味を引きだしてください。



せいかつ
生活習慣を
身につけよう

こまっている こが いたら...

ねらい 小さい子との関わりをとおして、自分の成長を感じましょう。



「泣いている小さい子を見かけたら、どうしたらいいのかな?」と尋ねてみましょう。泣いているぼこちゃんに、にゃんたくんたちはどんなことばをかけるのか、みんなで考えましょう。

声をかけてもらったぼこちゃんの表情が変わったことに注目し、「どうして泣きやんだのかな?」と質問してみましょう。「にゃんたくんたち、やさしく声をかけてあげたね」「手をつないでいるね」と話し、ふたりの行動に気づかせてください。



やさしくしてもらって、うれしそうなぼこちゃんに着目してください。「ぼこちゃんは、どんな気持ちかな?」「にゃんたくんたち、頼もしいね」などと伝え、自分たちがお兄さん、お姉さんとしてどんなことができるか話し合ってもよいですね。



かんざつ
身近な不思議を
知ろう

さむくても げんき!



ねらい 寒いところで暮らす動物のからだの特徴を知りましょう。

つかい方のポイント 北極に暮らすしろくまと、ほかのくまではどんな違いがあるか気づかせましょう。寒いところに白い動物が多いのは、氷や雪の背景に紛れられるからだと話してあげてもよいですね。



おはなし
想像力を
養おう

おにやまさんの ドーナツ



ねらい 怖い鬼だけでなく、やさしい鬼もいることに気づかせましょう。

つかい方のポイント 「甘い物が大好きな鬼さんもいるんだね」と話し、おにやまさんに親しみがもてるようにしましょう。「おにやまさんの変装が取れちゃったら、みんなはどうする?」「ドーナツを食べてみたい?」などと尋ね、お話の世界を楽しんでください。

「キンダーブック1」を 保育にご活用ください!



絵本をつかった指導計画の文例

コーナー	子どもが経験すること	保育者の配慮	5領域
<p>「こまっている こが いたら...」</p>	<ul style="list-style-type: none"> 小さな子が困っていたら、どうするか考える。 どんなふうに関わりをかけるか発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> 「泣いていたり、困っていたりする小さい子がいたら、どうしたらいいかな?」と尋ねる。 お兄さん、お姉さんからやさしくしてもらったことがあるか、どんな気持ちだったか話す。 小さい子にはどんなことばをかけたらいいか伝え合う。 やさしい気持ちをほめ、成長を感じさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 人間関係 言葉 表現
<p>「なにをつかって たべる?」</p>	<ul style="list-style-type: none"> 食事に合わせて、食具を変えることを知る。 何をつかうか食べやすいか、メニューごとに考える。 	<ul style="list-style-type: none"> いろいろな種類の食具があることを知らせる。 料理によって食具を変えると食べやすくなることを伝える。 それぞれの料理で「どれをつかうかな?」とクイズにしてみる。 手で食べたほうが食べやすい物もあることを伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> 健康 表現